

12.5.2. 費用

ここでは、自動車通学にかかった・かかる費用を解説します。まず前提として、私は合格が決定したときにすでに宿舎での生活を選択肢に入れていなかった点があります。月額料金と通学時間で考えると理想的ですが、部屋が狭く汚い、水周りが共用、一年次で約3割程度がアパートに移住することを知っていたためです(詳しくは宿舎暮らしのページを参照)。

そして、大学に1年間自動車通学してかかった費用を計算^{*1}してみると、以下の表の通りになります。

項目	価格
車 (Nissan NOTE e-power E13 型 X; 中古車)	約 2,600,000(乗り出しまでの合算)
教習所および免許取得の諸費用	312,680
大学の駐車料金	10,800/ 年
ガソリン代	約 192,000/ 年
オイル交換料金	9,174/5000km 走行
オイルフィルター交換料金	2,200/10000km 走行
ワイパーゴム	1,000
洗車関係用品	8,000
スタッドレスタイヤ	89,000
合計	約 3,254,576

そして、あくまで参考値程度ですが4年間通学した総額を算出すると、合計 4,025,708 円となります。

ここで4年間アパートにおいて生活した場合の価格を「つくいえ」(賃貸物件あっせん会社) および平成 29 年の筑波大学全学生生活実態調査のデータを用いて算出してみると、筑波大学周辺のアパートの家賃が月 4 万円、家具などの初期費用で約 42 万円、食費が月 2.5 万円、水道光熱費を月 1 万円と想定して算出すると約 402 万円となります。

一見、巨額ともいえるほどの価格がかかる自動車通学は平均的なアパート暮らしの学生とあまり経費が変わらないことがわかります。また、実家暮らしであることによって風呂や食事、洗濯にかかわる時間を両親にして頂いたりする場合はアパート暮らしよりも時間を有意義に使うことができると捉えることができるでしょう。

12.5.3. 自動車宅通のメリット・デメリット

1. メリット

なんといっても車があるので時間に縛られない生活ができるという点です。公共交通機関で移動するにしても時間に追われ、またそのたびに料金計算をする。この呪縛から解放されたことが一番うれしいことであり、メリットだと私は考えます。また、趣味としての選択肢が広がり、運転の楽しさを感じながらの登校ができるということも大きなメリットです。

¹ 寝坊したときの高速料金および保険料は親の等級を引き継いでいる関係で省略